

中央値補正法

本学の個別学力試験では、選択科目間の問題難易差における不公平をなくすため、「中央値補正法」により試験日・学部・選択科目ごとに得点調整を行っています。ただし、産業理工学部・短期大学部については、得点調整を行いません。また、合否判定については、試験日ごとに行います。

「中央値補正法」とは、各科目の真ん中の順位の人 の点数を50点に置き換え、他の方の点数を調整する方法です。1001人受験した場合は、真ん中の501番目の人の点数が50点に置き換えられます。

| 席次 | 素点 | | | 補正点 | |
|-----|-------------|------------|---|-------------|------------|
| | 日本史 100点 | 数学 100点 | | 日本史 100点 | 数学 100点 |
| 1 | 100 | 100 | | 100 | 100 |
| 2 | 95 | 70 | | 91.7 | 72.7 |
| 3 | 85 | 60 | | 75.0 | 63.6 |
| 4 | 80 | 55 | ▶ | 66.7 | 59.1 |
| 5 | 75 | 50 | | 58.3 | 54.5 |
| 6 | 70 | 45 | | 50 | 50 |
| 7 | 65 | 40 | | 46.4 | 44.4 |
| 8 | 60 | 35 | ▶ | 42.9 | 38.9 |
| 9 | 55 | 30 | | 39.3 | 33.3 |
| 10 | 50 | 25 | | 35.7 | 27.8 |
| 11 | 0 | 0 | | 0 | 0 |
| 平均点 | 66.8 | 46.4 | | 55.1 | 49.5 |

数式に当てはめると上の表のような補正点が出ます。

平均点を見れば、選択科目による有利不利が少なくなったことが分かります。

中央値補正法の計算式

① 素点 < 中央値の時

$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{中央値}} \times \text{素点}$$

② 素点 ≥ 中央値の時

$$\frac{\text{満点の半分の点数}}{\text{満点}-\text{中央値}} \times (\text{素点}-\text{中央値}) + (\text{満点の半分の点数})$$

上の表は「日本史」が簡単で、「数学」が難しい例です。ここで選択問題によって有利不利にならないよう、「中央値補正法」で得点を再計算します。成績順の中央に位置する席次6番目の生徒が50点です。100点と0点は素点のままです。他は、上の数式をあてはめ、補正点を算出します。